

農業政策について もつと先見性を

辻 均 議員



報提供を迅速にし、法人化組織を農家と一緒に進めていく。

質問 野菜畑公園構想をどう思うか。

市長 これからの農業のあり方として夢のある施策だと思う。

活用の仕方を含め農業関係と意見交換を重ね実現に向かいたい。

質問 都会からの定住化について市長の考えをお聞きたい。

市長 定年後は、三〇パーセントに近い方がふるさとで過ごしたいというデータもあるので受け入れ態勢を整えたい。

質問 スポーツ少年団への支援についてどう考えているか。

市長 青少年の健全育成の面からも強化支援していく。

現在、一団体三万円を支給し、派遣費の実費全額支給を決めている。

市長 資源環境対策も必要になるので、座談会等で情

質問 二〇〇七年度からの農業基本法への市の取り組みは。

市長 市独自の品種開発も必要になってくるが現時点では有機質、炭等を使って付加価値をつけ差別していきたい。

その効果も薄らぐ一方である。農業試験場でも優れた品種が沢山生まれている。農家と行政が一体となって仙北市にしかないおいしい品種の開発こそ本当のブランド米だと思うがどうか。

質問 米の新品種を開発推進してブランド化すべきではないか。

秋田こまち誕生から一五年、全国でも栽培される状態でブランド米「あきたこまち」もその効果も薄らぐ一方である。

質問 他家族とのふれあいという観点から小学生市内ホームステイ制度を提案したい。これについてどう思うか。

市長 他家族とのふれあい体験は必要だと思うので教育委員会と協議して進めていく。

農林業と地球温暖化対策を

どう考えるか

門脇 彰一 議員



仙北市の 基幹産業に関して

質問 市の産業基盤の現状をどの様に捕らえ将来への政策をどう考えているのか。

森林、林業、木材産業の現状と課題をどの様に捕らえているのか。地球温暖化対策に伴う森林吸収源対策推進のための環境税創設の検討が必要では。

市長 本市は農林業が基幹産業であると認識しているが、二次産業、三次産業に比べて生産高が低く第一次産業が断然トップとして市を引っ張っているとは言えない状況だ。

る。市としても目的税として大いに賛成し、今後考えて行く。

交通安全対策について

質問 高齢者の死亡事故ゼロと飲酒運転撲滅の、市一体運動の具体的対策は。

市長 高齢者の事故、飲酒運転が大きな問題と認識している。交通安全に特効薬はない。

年4回の交通安全運動、広報車の巡回等市を挙げての広報活動、市民大会なども開き交通安全の啓蒙活動を図る。仙北市交通安全対策協議会や関係機関、関係団体の協力を頂きながら市としての役割を果たして行きたい。

交通安全の設備面での不備があれば関係機関に願います。

昔は農業であれば米を作れば、漁業であればた魚を取って売れば、鉱業であれば在る鉱石を掘って売れば生活が成り立つたが、現在はそれに如何に付加価値を付けて高く売ることが課題だ。知恵と工夫と努力が必要な時代と考える。今後も本市は農林業が基幹産業であり続けると思うが、生産されたものを原料として如何に活用していくのか、生産性の低さをどの様にして高めていくのか課題と考える。

観光産業を支える諸産業の中の農林業として他との差別化を図り外貨を稼げる業種、業態になってゆくのか、今後もそうした努力が必要だ。

市としても関係機関、行政でお手伝いして行く。

環境税に関しては県でも必要性を主張しているが、国県をあげて環境を守る必要があ



緑化祭（元気に育て）